

校 訓
「志」・「伸」・「和」・「創」

本校の教育目標

- 1 自己実現を旨とし、自ら意欲的に学ぶ態度を養う。
- 2 豊かな人間性と互いを尊重する心をはぐくむ。
- 3 礼儀を重んじ、自覚と誇りを持って自己を律する態度を養う。
- 4 公共心を育て、社会や地域の発展に貢献できる人材を育成する。

生徒の実態、教師の願い

- ・素直で明るく、礼儀正しい生徒が多く、進路希望は進学と就職の割合が2：1である。
- ・望ましい社会性を身につけ、学習に加え、課外活動等の多方面の事柄に積極的に取り組む意欲的な学校生活を送ってほしい。

保護者や地域の願い

- ・多分野への進路実現に対応できるよう個性を伸ばし、正しい生活習慣を身につけ、課外活動へも熱心に取り組んでほしい。
- ・地域の特色や伝統を継承し、社会に貢献する人材となってほしい。

「志教育」の目標

- 1 豊かな人間性、他者を尊重する心、社会性を身に付ける。
- 2 自己実現を旨とし、意欲的・自律的な学習態度を身に付ける
- 3 地域に信頼され、地域や社会の発展に貢献する態度を身に付ける

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
様々な人との多様な関わりを通じ、他者理解及び自己理解を深化させ、豊かな人間性を養うとともに、適切なコミュニケーションを図り、充実した学校生活を送れるようにする。	進路説明会や進路講話、職場実習等の体験活動を通じて自己の適性を理解させ、将来の職業や生き方を真剣に考えさせるとともに、その実現に向けて学習活動等に取り組ませる。	各種ボランティア活動や地域行事への参加・協力等を通じて、社会・地域理解を推進するとともに、それらの中での自己の役割を自覚させ、信頼を得ながらの貢献的姿勢を育成する。

各教育活動における取組の観点	
各教科	教科の授業を通して生徒の人間として調和のとれた育成を目指しながら、人間としての在り方生き方についての学習の充実を図る。
道徳	他者の思いや考えを理解し、互いに助け合うことができる生徒を育成する。 ルールやマナーの意義を理解し、自覚と責任をもって行動する生徒を育成する。
総合的な学習の時間	自己の適性を知り進路意識を育て、自己実現を目指す機会とする。 教科を横断した学習に取り組み、地域を知り地域に貢献する人材を育てる。
特別活動	生徒会等の組織内での自己の果たすべき役割を体験させるとともに、HR活動や学校行事を経験させ、生徒・教師間の協力や調和の大切さを感じさせることで、広く地域社会で活動する意欲を涵養する。
その他	知・徳・体のバランスの取れた人格の形成

各学年の取組内容	
1年	入学者オリエンテーションで各自の学校生活における目標を確立させる。総合学習では体験学習の実施をととして、他者の心の尊重や公共心の育成を図る。また、将来を見通した進路指導を通して、自己の研鑽を支援する。
2年	挨拶、身だしなみ、等の生活指導を全職員が同じ目線で行うことで、社会性を養う基礎を築く。 総合学習ではグループ討議や自己表現活動を設定し、他社を尊重し自己を表現できる力を身につける。
3年	生徒の進路目標実現に向けて、就職・進学向けの課外指導を充実させる。特に就職やAO、推薦入試の面接・小論文指導等については、全職員の協力の下に個別指導体制を強化する。

家庭との連携

P T A 活動や学校評価、授業・行事公開等の機会を通じて、情報交換を図り、将来有為な社会人として、地域・社会に貢献できる人材の育成に努める。

地域・企業との協働

各種ボランティア活動や地域行事への参加・協力等、また、職場実習等の体験活動等により、望ましい職業観・勤労観の育成を図る。